

行動シート

| | |
|--------------------|---|
| 行動主体名 | 消防総務課 |
| 課・室・施設長名 | 上村 健一 |
| 組織の使命 | <ol style="list-style-type: none"> 1 局内の実施計画事業の調整（事業調整・進行管理）を図る。 2 局内の予算経理の調整（予算調整・進行管理）を図る。 3 消防行政の総合企画及び総括調整を図る。 4 局の組織，制度及び職務権限について総括的に整備を図る。 5 職員の福利厚生及び安全衛生に関し，積極的に推進を図る。 <p>以上の業務を充実させながら，市民の安心・安全の確保と，誰もが安心して暮らせる街づくりを推進することを使命とする。</p> |
| 現状認識及び中期（向こう3年内）展望 | <p>現状認識（改善・強化すべき事項）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職員一人ひとりの事務分担の平準化の推進 2 車両更新計画は作成済みであるが，国庫補助金の削減等により年々計画通り更新が実施できない事が予想される。 3 車両更新が滞ると，資機材の老朽化が進み職員の負担が大きくなるため積極的に多方面に補助金等の模索を継続する。 4 職員の働きやすい環境づくりを常に目指す。 5 情報の共有化を図り消防総務課職員全員が統一した見解で業務に望む。 |
| 事務改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 一から業務分担を見直し，現状に則した分担とし併せて業務の分担の平準化を課内で協議する。 2 定期的（1週間に1回）に課内ミーティングを実施し，互いの業務の進行状況を確認し，助言や協力の積極的な交換を行う。 3 また，情報の発信・受信を一元化し，共有し消防総務課としての統一した見解で業務に臨む。 4 定期的に署・分署を訪問し，施設・車両装備品等の調査点検をし，現状の把握を行い，積極的な運用整備の実践を行う。 |
| 接遇改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 庁舎内・及び敷地内で，来庁者に接するときは自ら進んで挨拶を励行し，庁内で困っているような市民の方には「どのようなご用件ですか？」といった声かけを積極的に行う。 2 外部からの電話対応は所属などを名のり，挨拶，言葉使い等，礼を失することの無いようにする。また，たらい回しの抑制などの改善を徹底する。 3 外部からの，電話による質疑に対しては，慎重を期して回答する。 4 開かれた消防総務課を目指し，入ってきやすい環境づくりの実践を課内全員で取り組む。 |
| 経費節減に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 昼食時間の消灯励行 2 用紙の裏面の再利用 3 冷暖房時の温度設定並びに一時停止の励行 4 時間外勤務の削減 5 電話使用の際の公用・私用の明確化 |

行動シート

| | |
|--------------------|---|
| 行動主体名 | 警 防 課 |
| 課・室・施設長名 | 内田 昭一 |
| 組織の使命 | <ol style="list-style-type: none"> 1 あらゆる災害時に的確な消防活動ができるためのマニュアル作成 2 消防(加入電話・119番等)の窓口としての適切な対応 3 各種消防訓練の企画・立案・実践・改善 4 救急・救助業務の高度化への対応及び市民が行う応急手当の普及啓発 5 災害時要支援者の把握及び災害対応 6 救急・救助統計の作成 <p>以上の業務を充実させながら、市民の安心・安全の確保と、誰もが安心して暮らせる街づくりを推進することを使命とする。</p> |
| 現状認識及び中期(向こう3年内)展望 | <p>現状認識(改善・強化すべき事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指揮隊の創設及び指揮要領の向上 2 市民の普通救命講習会の受講率の向上 3 警防訓練の日常化 4 指揮支援情報の整理・作成 5 特殊災害等における通信対応 6 緊急消防援助隊登録部隊の訓練 7 MC体制の充実強化 <p>中期展望</p> <p>警防業務(含む救急業務)は消防行政の根幹をなすものであり、この強化・充実が消防として避けて通れない重要な問題である。特に住民の権利意識の高揚による現場活動の確実性の指摘や高齢化等による救急需要の増加は容易に想像できる。</p> <p>市民・社会の要求が変化中、テロ等を含めたリスクは多様化し消防職員に必要とされる知識や技術も多様化してきている。</p> <p>また、既存制度の中で市民要求を満足させているためには、職員一人ひとりが現状を認識し、どこかで起きた災害を他山の石とすることなく、自分の身近でも起きると覚悟して対処法を組織一丸となって追求し、訓練しておく必要がある。</p> |
| 事務改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 事務内容の適正化のための再配分 2 目標の明確化(期限を設けて執務する) 3 事務の進展状況の把握及び共有 |
| 接遇改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 公務は最大のサービス業であることの徹底 2 市民に対する平等性の追求 3 119番及び加入電話対応の言葉使いの徹底 4 災害を受けた人に対する配慮の徹底 |
| 経費節減に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 救急件数抑制(医師会と連携し、正しい救急車の利用促進及び転院搬送抑制要請) 2 各種会議の効率化(非番の職員を召集して会議を実施すると時間外勤務が発生するので、勤務職員で会議を開催し、結果を伝達するような効率的なものに変える。) |

行動シート

| | |
|--------------------|---|
| 行動主体名 | 予 防 課 |
| 課・室・施設長名 | 山下 政則 |
| 組織の使別紙命 | <p>消防法に規定されている権限を行使し，立入検査・消防同意及び広報・消防協力者団体の育成等，あらゆる手段を駆使して火災の予防と同時に火災発生前の通常における抽象的，又は一般的な火災危険の除去を使命とする。</p> |
| 現状認識及び中期（向こう3年内）展望 | <p>本題とする火災の予防の面から本市の火災発生率が全国的にも高いことから，その原因を追究し火災発生を減少を目標に掲げ防火対象物・危険物施設の立入検査について，職員を効果的に配置し，効率的で均一的な検査，及び指導が実施できる体制を構築し，火災等の災害発生を未然に防止する。</p> |
| 事務改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 課内担当職員の不在時を想定し，それぞれの事務分掌についての事務マニュアルを作成する。 2 防火対象物・危険物施設等の情報電算化により事務の効率化を図る。 3 課内職員間の相互応援体制作りの構築 |
| 接遇改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 庁舎内・及び敷地内で，来庁者に接するときは自ら進んで挨拶を励行する。 2 外部からの，電話対応は言葉使い等，礼を失することの無いようにする。 3 関係者等からの，電話による質疑に対しては，慎重を期して回答する。 |
| 経費節減に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 昼食時間の消灯励行 2 用紙の裏面の再利用 3 冷暖房時の温度設定並びに一時停止の励行 4 時間外勤務の削減 5 電話使用の際の公用・私用の明確化 |

行動シート

| | |
|--------------------|--|
| 行動主体名 | 消防団課 |
| 課・室・施設長名 | 十島 良弘 |
| 組織の使命 | <p>消防局に消防団課(職員3名)が新設置され、自らが健康第一とし、規律厳正・綱紀肅正をモットーに、職員・団員が融和協調を図り、常備消防と消防団が一丸となって「地域住民の安心と安全で快適な暮らし」ができる確立を目指し、9消防団の一元化において、組織、任免及び表彰、公務災害補償及び退職報償金、会議、研修及び訓練、被服等貸与品、施設の維持管理等々薩摩川内市消防団事務の全般にわたる所掌事務を行い、消防組織法第1条に定める消防の任務を遂行することを目的として、消防組織法第6条に定める市町の消防責任を果たす。</p> |
| 現状認識及び中期(向こう3年内)展望 | <p>消防団活動において、消防組織法第1条で定められている消防の任務外の活動等があり、また出場要領・出場区分等が全団員に浸透把握されていない現状である。</p> <p>本来の消防団としての業務・活動を早期に周知徹底していかなければならない。</p> |
| 事務改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 課内におけるミーティングを実施し、共有化を図る。 2 団における指揮命令・連絡系統の確立及び消防団会議等に係る支援及び協力 |
| 接遇改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 情報を共有化し、団員との融和協調を図る。 2 消防団行事・コミュニティーへの積極的な参加 |
| 経費節減に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 各分団の車庫詰所・消防車両・小型ポンプ等資機材の維持管理及び点検整備の実施並びに災害・訓練時の器具愛護等取扱いの徹底 2 費用弁償支給の管理 3 自己管理(ケガ・病気)の徹底 4 一市一団32分団への車庫詰所統合及び団員1,278名の3年を目途とした定数管理とする、 |

行動シート

| | |
|------------------------|--|
| 行動主体名 | 中央消防署 |
| 課・室・施設長名 | 森永 健一 |
| 組織の使命 | <ol style="list-style-type: none"> 1 市民の安全確保（市民を守る） 2 市民の要求にしっかりと答えていく 3 迅速適確な現場処理（市民の不安を早く取り除く） 4 市民が安心して暮らせるまちづくり |
| 現状認識及び中期 (向こう3年内)展望 | <ol style="list-style-type: none"> 1 市民に信頼される消防（笑顔で心のこもった迅速・適確な対応） 2 職場の環境づくり 3 消防職員・公務員としての自覚 4 教育訓練の実施 5 新たな火災予防対策の推進（住宅防火対策・高齢者の死傷者事故防止・違反是正の徹底） |
| 事務改善に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 むやみにパソコン・コピー等の印刷をしない（必要最低限におさえて回覧する） 2 日常における確実な事務引継ぎ 3 職員が警防要員と各係を兼務していることの意識自覚 |
| 接遇改善に関する 行動計画 | <p>中央署守るべき3つのルール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整理整頓（庁舎全体・身の回りの整理整頓を常に行う） 2 力強い礼節（規律正しく来庁者に対応する） 3 大きな声での挨拶（すべての来庁者に元気よくあいさつをする） |
| 経費節減に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 節電（昼休みはすべての電灯を消すこと・朝明るくなったら車庫・ローカ・玄関等の電灯を消すこと・電灯はこまめに消すこと） 2 節水（水の垂れ流しをしないこと） 3 長時間使用しない場合のパソコンのシャットダウン |

行動シート

| | |
|------------------------|--|
| 行動主体名 | 中央消防署南部分署 |
| 課・室・施設長名 | 常盤 茂 |
| 組織の使命 | <ol style="list-style-type: none"> 1 災害に強い町づくり，市民が安心して安全に暮らせるための防災・防火の指導を積極的に行う。 2 防火対象物の立入検査を計画的に実施し火災等災害による損失の軽減を図る。 3 多種多様な災害に対応するための警防訓練の励行 |
| 現状認識及び中期 (向こう3年内)展望 | <ol style="list-style-type: none"> 1 徹底した服務規律，礼節，綱紀肅正の継続 2 充実した予防査察の励行と定期的な広報活動 3 計画的な警防活動の充実，強化 |
| 事務改善に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 能率的，効率的な事務処理 2 署・分署で共有する事務処理の電算化 |
| 接遇改善に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 出勤時から大きな声で挨拶し，明るい職場づくり 2 来庁者に礼儀ある挨拶，正しい言葉使い，相手の立場に立った対応をする。 3 予防査察時など，尊大，独善と思われるような行動をとらない。 |
| 経費節減に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 細やかな節電，節水の励行 2 資器材等の点検，整備の励行 |

行動シート

| | |
|------------------------|--|
| 行動主体名 | 東部消防署 |
| 課・室・施設長名 | 坂元 勇一 |
| 組織の使命 | <ol style="list-style-type: none"> 1 安心・安全な町づくり 2 水利等の消防施設の維持管理 3 火災・救急・救助体制の充実強化 4 職員の資質の向上と健康管理の把握 5 予防行政の充実及び地域住民への防火安全や応急手当の普及 6 消防団と一体となった防災安全環境体制の強化 |
| 現状認識及び中期 (向こう3年内)展望 | <ol style="list-style-type: none"> 1 防火管理等予防行政の徹底 2 点検の強化, 水利不足地域の解消 3 祁答院分署との連携強化, 出動体制の再編 4 体力増進施策 5 防火管理の徹底, 普通救命及び AED 講習の拡大普及 6 予防広報及び地域防火指導の徹底 |
| 事務改善に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 事務分掌の見直し(各固有事務の効率化) 本部一括事務及び署所分掌事務の明確化・合理化・簡素化 (例 基本方針 本部, 運営方針 署所) 2 消防局全体での人員配置見直し 3 祁答院分署を含めた出動体制の見直し及び効率運用 4 消防団の出動体制の適正化 |
| 接遇改善に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 来署者へのあいさつの励行 2 事務処理の迅速化 3 地域防災訓練等への積極的参加及び指導 4 普通救命講習及び AED 講習等の普及活動強化 5 反復指導及び指導内容に対する説明の徹底 |
| 経費節減に関する 行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 署所用パソコンの効率的運用 隔日勤務者のパソコン 4 名 1 台使用の検討 2 ペーパーレス, コピーレスの徹底 3 未使用施設の消灯の徹底 4 機械器具の点検整備の徹底 |

行動シート

| | |
|--------------------|--|
| 行動主体名 | 東部消防署祁答院分署 |
| 課・室・施設長名 | 上白石 正一 |
| 組織の使命 | 職員は規律厳正にして職務に当たるとともに、地域防災を担当する組織及び職員としての責任を深く認識し、市民生活の安心・安全の確保を図る。 |
| 現状認識及び中期（向こう3年内）展望 | <p>現状認識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新設の分署として、日勤の分署長1名及び隔日勤務者12名を配置し業務を開始する。 2 車両配置 指揮車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台 <p>中期展望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害対応における消防力を確保するためには、資機材の整備を図りながら各職員及び隊の職務能力を高めるとともに、東部署・祁答院分署、消防団、支所及び地域住民との連携を図る。 2 管内実情の掌握に努める。 3 消防団、自主防災組織等地域における総合的な防災体制の整備 4 地域住民の防火、防災意識の高揚を図る。 5 住民に対する応急手当の普及啓発活動の推進 6 地域ぐるみの災害に強い、安心・安全なまちづくりの推進 |
| 事務改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 消防ポンプ自動車及び救急自動車の搭乗隊員の兼務（現状） 2 職員及び隊の職務能力の向上を図る。 3 個人情報保護と守秘義務の確保 4 住民の消防需要に対する迅速な対応を図る。 |
| 接遇改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 市民の立場に立った消防活動の推進 2 親切的な日常活動と広報活動の推進 3 好感をもたれる職場・執務環境づくりの推進 4 奉仕の精神に徹する。 |
| 経費節減に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 各職員が財政事情の認識を深め、事務執行への反映を図る。 2 現有車両及び資機材等の適正な運用と定期的な点検整備に努め、長期的活用を図る。 3 小まめな消灯と空調機器等の適正使用に努め、節電を図る。 4 I P 電話活用の推進 5 電子文書の活用による文書の減量化と複写機の適正使用に努める。 |

行動シート

| | |
|--------------------|---|
| 行動主体名 | 西部消防署 |
| 課・室・施設長名 | 濱田 茂 |
| 組織の使命 | <p>石油コンビナート等特別防災区域の指定を受け，突発的な災害に対処できるよう設置。特殊災害の発生及び拡大の防止等のための総合的な施策の推進を図り，もって特別防災区域内外に係る災害から国民の生命，身体及び財産を保護することを目的とする。</p> <p>併せて消防の本務である地域の安寧秩序を保持し，社会公共の福祉の増進に資するよう努力する。</p> |
| 現状認識及び中期（向こう3年内）展望 | <p>市政改革に基づき意識を変えることにより，従来の意思決定プロセスや，情報処理パターンを変え職員の行動基準モラルに影響を与え組織全体を活性化させる。</p> <p>目的を達成するためには，職員が十分に意思疎通を図り相互に影響し合いながら努力を貢献していく。</p> |
| 事務改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 災害に対する迅速かつ的確な初動体制を明確化する。 2 管内の危険地域等の情報分析を行ないデータを作成する。 3 職員召集計画を立案作成する。 4 職員各人が緻密かつ網羅的な情報の収集及び処理を行ない関係機関と情報の交換・共有化を徹底する。 5 業務及び意識の改革を行ない，職員の能力向上を図り，組織の基盤能力を底上げする。 |
| 接遇改善に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 予防査察・自衛消防訓練・救急法指導等を通じて住民との対話，参画を図る。 2 各職員がそれぞれの立場と認識により接遇する。 3 組織外の人と交わって物の見方や考え方・視点をつかんでくる。 4 奉仕の精神に徹する。 |
| 経費節減に関する行動計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1 省エネ・節電・節水に努める。 2 資機材の点検・整備の徹底。 3 電話使用時は公用使用の明確化及び効率化。 4 用紙の裏面再使用。 |